

御宿

O N J U K U

平成10年

町勢
特集号



1998 第422号
千葉県御宿町役場

メキシコ記念塔建立70周年記念 ～日西墨三国交通発祥記念之碑～



VIVA ONIUKU

VIVA ONIUKU

VIVA ONIUKU

VIVA ONIUKU

VIVA ONIUKU

VIVA ONIUKU

VIVA ONIUKU



VIVA MEXICO

VIVA MEXICO

VIVA MEXICO

VIVA MEXICO

VIVA MEXICO

VIVA MEXICO

VIVA MEXICO

熱い人情とロマンでまちづくり

町勢特集

大胆な発想転換のとき



御宿町長 加藤 長

いま、日本を代表する大都市が大きな財政危機に直面しています。中小の市町村も例外ではなく、厳しい財政状況です。

比較的安定した税といわれる固定資産税が収収の主力となっている当町でもやはり大変苦しい台所事情です。それだけに財政運営のあり方、事務事業のすすめ方など、思い切った発想の転換によって、経費節減につとめ、住民サービスのため“チエ”をしぼる必要が一層求められる時代です。

暗いニュースの多かった一年でしたが、ことし町では伊

藤町政からバトンが渡され年の途中で施策継承する形で引継が行われました。

また、月の沙漠とメキシコをテーマとした町づくりが認められ、毎日・地方自治大臣賞奨励賞を受賞しました。一六〇九年の史実、メキシコ(当時スペイン) 船遭難にまつわる地元民による乗組員救助という快挙。

月の沙漠の詩、発祥の地にちなむロマン。この二つの大きな文化遺産が町づくりの二大要素と考えています。

三月には、加藤まさを生誕百周年記念ファイナルイベント、お魚ウィークス&月の沙漠童謡大会に関東近県から大勢の参加者が集い、賑わいました。

御宿パークゴルフガーデンが四月、御宿台にオープンし、当地を訪れる観光客に話題を提供しました。

平成十一年度から始まる新三カ年計画や行政改革大綱の見直しのなかで、様々な施策に取り組み準備をしています

が、住みよい住環境を守るための都市計画導入をはじめ、海や河川の汚れを防ぐための下水計画、老朽化した教育施設の見直しや新しい環境基準(ダイオキシンの削減対策)をクリアーするための焼却場の

改修、道の駅やスポーツ公園整備、地域限定商品券発行計画などによる産業の振興、芸術、文化の振興のための谷内

六郎記念館の設置計画、0歳児保育所や乳幼児医療の無料化などなど、きめ細かな施策まで幅広い行政分野にわたり、ハード(施設)、ソフト(運営等)両面にわたって、躍動的に取り組みための作業には

いっております。これらのことは、町長からのメッセージで私自身の施策として実行し

平成十年町の動き

- 〆一月
 - 5日 新年祝賀式
 - 7日 消防団出初式
 - 8日~10日 冬期海と山の子交流会
- 〆二月
 - 8日~10日 長野オリンピック 野沢「バイアスロン競技」応援
- 〆三月
 - 1日 町長選挙
 - 4日 定例議会
 - 10日 定例議会
 - 12日 中学校卒業式
 - 19日 御小・岩小卒業式
 - 20日 布施小卒業式
 - 27日 保育所卒園式
 - 29日 お魚ウィークス&月の沙漠童謡大会
- 〆四月
 - 1日 パークゴルフガーデンオープン
 - 3日 保育所入園式
 - 6日 小学校入学式
 - 7日 中学校入学式
- 〆五月
 - 10日 消防団統一訓練
 - 14日 町民チャリティゴルフ大会
- 〆六月
 - 4日~6日 第七回町民号
 - 21日 夷隅郡市消防操法大会
 - 26日 定例議会
- 〆七月
 - 5日 海開き
 - 11日 ウォーターパーク開き
 - 19日 メキシコ記念塔建立七〇周年記念式典
 - 23日~25日 夏期海と山の子交流会
- 〆八月
 - 5日 花火大会
 - 17日~26日 中学生海外研修旅行
 - 21日 台北華新児童合唱団公演
 - 22日~23日 第四回千葉県ビーチバレーボール大会
 - 22日~25日 姉妹都市青年交流サマーカーン
- 〆九月
 - 1日 防災訓練
 - 15日 敬老会
 - 28日~29日 秋祭り
- 〆十月
 - 10日 町民体育祭
 - 17日~18日 全日本学生ライフセービング選手権大会
- 〆十一月
 - 3日 文化祭
 - 11日 合同七つ子祝い
- 〆十二月
 - 6日 防火デー
 - 31日 渚の火祭り



都市計画の必要性を説明する吉田収入役

ていきたいと公表したものを
実現していくこととなります。
そのためには、職員の資質
を高める必要から、企業研修
をはじめ、福祉施設、海外、
県や国など関係機関への研修
を積極的に展開していきます。
この町勢特集号は、町の一
年の歩みを数字を中心に行政
の取り組みも併せて紹介し、
町づくりに対する町の姿と考
えをご理解頂き、これらの行
政に対するご協力とご指導を
お願いするものです。

行政全般

「住みよい豊かな町」 現実に向けて

町基本構想（昭和六一年策
定）の第四次三カ年実施計画
の最終年、「住みよい豊かな
町づくり」がどのように進行
しているのか。

【計画目標】

- 一、基礎的条件の整備（未来を創造するまち）
- 二、教育文化の向上（豊かな人間性をはぐくむまち）
- 三、福祉、医療の充実（あたたかい心のかよいあうまち）
- 四、産業の振興（活力に満ちた魅力あるまち）
- 五、生活環境の整備（快適で安心して暮らせるまち）
- 六、行政の近代化とコミュニケーション

ティー形成（住民と行政がつくるまち）

一、「未来を創造するまち」 基礎的条件の整備

今年度は町第五次三カ年実施計画（平成一一～一三年）に向けた見直し時期にあたり、基盤整備の充実や行政、町民の意識を高めながら、その理念である「住みよい豊かなまちづくり」を総合的かつ継続的に推進していきます。

町では、水と緑に囲まれた快適環境の維持、生活に潤いと安らぎを与える景観の整備を行うため計画的な土地利用が必要であると考えます。このため地域の豊かな自然・文化的特性などを活かした、また、建築物など都市施設のデザインに配慮し住みよいコミュニティ形成に向け、都市マスタープランを策定し、緑

豊かな自然の保全や無秩序な宅地化を抑制することで均衡のとれた健全で文化的な定住環境づくりを目指します。

二、「豊かな人間性を はぐくむまち」 教育文化の向上

まちづくりは人づくりという観点から、いつでも誰でも生涯学習ができる環境づくりを進めています。町民カレッジの増設や公民館教室の充実をはじめ、町民の皆さんからの要望を積極的に反映させていきます。

また、学校教育では、情報教育推進のため、中学校のパソコン入替えや全ての学校にインターネットの接続を行うなど環境整備に努めたほか、海外研修や英語指導助手制度の継続実施による語学教育にも積極的に取り組みました。施設整備については、教育施設検討委員会による検討作業と並行して、地域懇談会を開催。二十一世紀を担う子どもたちがよりよい教育環境のもとで学べるよう早期に具体化を図ります。そのほか、自然教育や環境

教育の重要性が高まるなか、天然記念物「みやこたなご」を地域の中で、いかに保護・活用するかという目的で保護委員会を設置、地域の活性化につながる計画づくりに着手しました。

三、「あたたかい心のかよいあうまち」 福祉・医療の充実

皆さんが健康で明るく暮らせるための各種事業の実施に努めています。保健事業では、各種検診や健康相談の実施による疾病予防対策、乳幼児医療費助成対象者の拡大などに取り組んでいます。

福祉事業では、児童館の役割を重視した施設環境整備や運営改善を行い、利用拡大に努めています。また、世代間の交流を深めるため、高齢者と保育所園児、各小学校の児童とのふれあい事業なども進めています。現在、介護を必要としている方に対する在宅サービスの充実や、寝たきり予防活動の推進をしています。

四、「活力に満ちた 魅力あるまち」 産業の振興

農林水産業については、農道、林道、漁港整備などの基盤整備を計画的に行い、また将来に向けての担い手である後継者の育成などにも積極的に取り組んでまいりました。商工業については、中小企業振興利子補給制度を引き続き実施するなど、各種補助金制度などにより産業の振興に努めています。

また、ふるさと産品開発づくりにも積極的に取り組んでいます。観光では、メキシコ記念塔七〇周年記念式典のような史実を基調とした事業の実施や年間を通して来遊者に楽しんでいただける企画を観光協会とともに検討しています。このほか、来遊者に快適に過ごしていただけけるよう、公衆トイレの整備も浜地区で実施され

ます。

五、「快適に安心して暮らせるまち」 生活環境の整備

今年度は国のリサイクルモデル地区指定を受け、十月より「きちんと分け兵衛事業」で分別リサイクルに取り組み環境の維持・保全に努めています。

また、防災面では、新町区自主防災組織の発足や耐震防火水槽の設置、備蓄品の安定供給するための協定の締結など災害に強い町づくりを推進しています。

さらに、交通環境の整備では危険箇所への優先的な予算配分をするほか、リゾート関連道路の事業継続、雨水・生活雑排水施設整備にも努めています。

建設

要望・緊急性を重視した事業展開

住み良い豊かな町づくりを目標として、平成八年度に計画された実施計画も最終年度を迎えました。毎年この計画に基づき、地域の強い要望箇

六、「住民と行政が くぐるまち」 行政の近代化と「ユニティ」形成

平成九年八月から開始しましたインターネットサービスも現在一六〇名の方が登録をされ、様々な分野での活用がされています。今後も住民と行政のコミュニケーション手段として推進し、また、行政事務を効率的かつ迅速に処理するため、電算システムの導入を推進します。

地区集会施設などユニティの形成・活動に重要な役割をもつ施設整備は、施設の状態や需要に応じて整備助成を図ります。

路）改良工事、〇一〇五号線道路改良工事の継続、〇二〇二号線道路改良工事の基礎測量などを行いました。

また、老朽化が激しい町営富士浦住宅建て替え工事二棟（四戸）を継続事業として実施します。

町単独財源で行う工事は予算七千九百万円で前年度比四十九%増の規模となりました。これらの内訳は次のとおりです。

- 一、道路排水整備工事では、継続事業〇一〇一号線をはじめとして十二箇所の雨水・生活雑排水施設を整備しています。
- 二、道路維持工事は舗装修繕工事を主に、路面の傷みの激しい路線について七箇所整備します。

三、道路改良工事は現道の拡幅を主に、二路線を拡幅整備し、改良後舗装新設工事を進めます。

また、未舗装路線一路線の整備をする他、河川維持工事及び水路整備工事を行い整備します。

その他県道改良工事・急傾斜地崩壊対策事業などを継続的に実施しています。これらの各種事業を行うためにも地域住民や地権者のなお一層のご理解ご協力をお願いいたします。

水道

安定給水を目指して

平成九年度は、異常少雨によりタムの有効貯水量も二

十%まで落ち込む程の渇水となりましたが、南房総広域水





農 林 業

補助を積極的に活用し 生産意欲を高める

社会状況の変化により米づくりを取り巻く環境も少しずつ変化しております。

米価の安値、農業収入の伸

び悩みなどの他、近年、環境保全への取り組みなど、米づくりの変革時代を迎えました。

また、安定した米づくりと農

道からの受水により、緊急の事態は免れました。渇水などによる水不足は、水道事業の経営に直接影響を及ぼすばかりでなく、町民の皆さんに大変不安を与えることとなりま

す。このような状況にも十分対処できるよう、平成九年に南房総広域水道より受水するための第三配水池などの施設整備を行い、同年九月末より受水を開始し、現在日平均二百六十五立方メートルを受水

しています。今後は、余程のことがない限り、水不足で町民の皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、ご安心ください。

おける水圧低下の解消並びに災害時に対するための配水管布設工事を実施し、安定給水に尽くすとともに、既存の浄水機器などの定期点検により、老朽、減耗の著しい機器の交換改修を行ってまいります。

また、細菌などの水質管理に万全を尽くすため、定期的な水質検査も実施してまいります。

平成十年十月末現在の給水戸数は三千六百三十三戸で、給水人口は六千九百十五人です。

近年は、景気の低迷などにより新規加入者も減少がみですが、今後とも加入促進を図り、普及率の向上に努めてまいります。

家労働の負担軽減の為、空中散布による病害虫防除を実施し、日照不足など天候が不安定な中、平成十年度の米の集荷のコシヒカリの一等の占める割合は、九十八%と前年度より若干のマイナスでありましたが、適切な防除により被害米の軽減ができました。今後、環境を考えた適切な防除、地域の特色を活かした環境と調和のとれた米づくりを推進してまいります。

また、転作につきましては制度の改正により、助成を受けるためには拠出が必要となりました。本年度の転作の目標面積は八十五・六ヘクタールと前年度に比べ増加しましたが、適切な取り組みの結果、百パーセント以上の達成が見込まれています。

その他、昨年に引き続き駅裏休耕水田約二ヘクタールに菜の花及び食用菜の花を植栽する他、周辺環境の保全のため約四ヘクタールの草刈りを実施しました。現在、菜の花は春の開花に向けて順調に成長しています。

ふれあい農業では、町内小学生が田植えや稲刈りを体験

秋には収穫祭が行われ自分たちの作った米で餅つきなどを楽しみ、お米の大切さを学習しました。

花き生産組合では、経営耕地の拡大や安定した農業所得の確保、生産技術の向上に取り組み収益性の向上に努めています。本年度は、千葉の花産地整備事業で施設整備を行います。リーストックの生産拡大を図りました。地域の花として定着できるようさらにまい進してまいります。

月の沙漠記念館前に十一月よりオープンしたプラサ御宿物産コーナーで、地元でとれた農林水産物の販売及びPRを行い、生産者意欲の向上や

産業振興に取り組んでまいります。

【林業】

松くい虫による被害は年々増加の傾向にあります。平成八年度の被害木総数は百三十七本であったのに対し、平成九年度は二百二十一本となり、前年対比六〇%の増加、特に直径三十センチ以下の若木の被害が非常に多く見られました。



ふれあい農業

水産業

種苗放流などで 安定漁獲高を目指す

平成六年度から八年度にて漁業環境影響検討業務が終了しました。平成九年度以降はこの調査結果を住民のご協力を得ながら海の環境保護に努めてまいりたいと思います。

平成九年度の漁獲水揚量は前年度と比較しますと、全体で〇・七%ほど増加となりました。魚種別では、前年度対比、かつお二七%、ぶり一二〇%、いなだ一一五%と非常に増加しましたが、いかは五〇%強の減少となりました。

なお、あわび・さざえについては、あわび六六%強、さ

ざえ七五%の増加となりました。磯根漁業については、漁獲水揚量が不安定なため、今後とも御宿・岩和田両漁協の協力をいただき種苗放流事業などを実施し、磯根資源の確保に努めます。

漁港整備は、御宿漁港においては、野積場用地の整備を昨年に引き続き県補助金を導入して実施しました。岩和田漁港は、防波堤嵩上げ工事や消波工事を、また、両漁港の浚渫工事などを平成十一年度に整備計画しています。

す。さらには、後継者不足などが新たな設備投資への不安材料につながっている傾向が見受けられ、事業改善などにも消極的になっており、各商店とも現状は非常に厳しい状況です。

町では、内需拡大や町内各商店の活性化を図る為の第一歩とし、平成十一年度四月より町事業などの記念品や賞品について地域限定商品券の発行を行い、地域振興を推進していく予定です。

また、昨年度より町内交流人口の増加・来町された方々に商店へ足を運んでもらい、商店の活性化はもとより町全体の活性化を目指す目的で、「メキシコ輸入品フェア」が

商工会を中心に、七月十九・二十日の両日、月の沙漠記念館広場で開催され、メキシコ料理や民芸、コンサートなどメキシコ色を全面に取り入れ約五千人の来場者がありました。そして、御宿町とメキシコとの交流関係をPRできたと思います。

年度内の平成十一年三月に、「御宿まるごとミュージアム」が商工会によって開催される予定です。

町では、商店振興・活性化を促進するため、昨年度より創設された魅力ある地域づくり推進事業補助金制度を住民の皆さんの活力を醸成するために継続して実施してまいります。

場、鉄・ペットボトル・発砲トレイは県内のリサイクル施設で処理されています。

廃棄物の発生が年々増加の一途をたどる一方で、その処理・処分施設の不足が顕在化し、このまま放置すれば社会全体の負担が増大し国民生活や事業活動に大きな支障をおよぼします。このためリサイクル経済社会への転換が急務とされ、焼却対象ゴミを減らす方策をとらなければなりません。

町では今年度、国のリサイクルモデル地区の指定を受け、事業の推進を行いますので住民の理解とご協力をお願いします。

商工業

地元限定商品券を発行

長引く景気低迷が続く中、また大中小型店の地方進出など

により、商工業を取り巻く環境は大きな打撃を受けていま

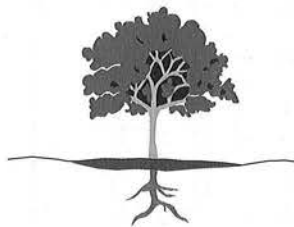
環境

リサイクルモデル 地域指定を受ける

ゴミの処理は、それを焼却処分することでの大気、埋立てによる土壌、水質への影響など、私たちの身近な問題と

なっています。

現在、町の焼却灰は銚子市の最終処分場、電化製品・プラスチック類は長野市の処分





保健福祉

保健・福祉の 連携を深めて

昨年度新設された保健福祉課は、住民の皆さんの様々なニーズに対応できるよう、さらに保健と福祉の連携を深め「あたたかい心のかよいあいまちづくり」をめざし、各事業に取り組んでいます。

そのひとつとして「保健福祉連携サービス事業」は、当町独自の情報システムを開発し、各種健康診査の受診状況などを共有・統合し、「寝たきり予防活動」への準備をすすめています。

【保健】
生活習慣病などの予防に向けて各種検診の受診率の向上や「健康・食生活」の相談業務を展開しています。

また、昨年度から一貫して行われている一歳六ヵ月健康診査などの母子保健事業も障害児の早期発見や早期治療への結びつき、保健予防施策の充実へとつながっています。

また、乳幼児医療費助成制度の改正を行い、対象層を拡大し社会保障の充実も図っています。

【福祉】
高齢者福祉は、平成一二年四月から施行される介護保険制度に向けて新たに介護保険準備係を設け、「介護保険事業計画」の策定や平成五年に策定した「老人保健福祉計画」を全面的に見直し、介護保険施行に向けた業務を進めています。

児童福祉は、少子化や核家族化の傾向が年々すすんでおり、児童を取り巻く環境も様々に変化しています。

児童の遊び場や地域との関わりが少ない状況の中で、児童館の役割を重視した事業の拡大をしています。子ども同士や母親たちの触れ合いの場の提供や乳幼児とその母親を対象とした「のびのび教室」

の実施、より地域に開かれた子育て支援と児童育成の場として児童館事業に取り組んでいます。

また、子育て支援については保育所でも行っています。障害者福祉では、身体障害者手帳の所有者が増加しています。重度障害者に対する医療費助成や福祉タクシー券の

交付などを行っています。

今後、高齢者や障害を持つ方が可能な限り自宅で生活できるようにホームヘルプサービスなどの充実を図っていきます。そして住民の皆さんが健康でいきいきとした明るい日々を過ごせるよう「温かい心のかよいあいまちづくり」を目指しています。

の資機材を交付させていただき、その発足の推進、活動を応援していきます。

震災に備え、消火活動に、また、生活用に大切な水を確実に確保するための耐震防火水槽を本年は、実谷区への建設をすすめるほか、消火力強化のための消火栓の設置を須賀及び新町地先に実施します。

消 防

耐震防火水槽整備や 防災協定締結を推進

御宿町消防団は、一本部、八分団で構成され二四五名の消防団員で組織されています。町民の皆さんの生命・財産を守るため、月二回の試運転や

生しています。しかしながら町民の皆さんの防火に対する心がまえにより、多発することなく、被害も最小限に止まっています。

防災・防火・消火に関する各種の訓練、夏期の海岸警備や火災の発生しやすい時期となる歳末の夜警、花火大会や渚の火祭りなど町の実施するイベントの警備などを行っています。

町でも、高まる消防・防災活動への期待を踏まえ、事業に取り組んでいます。

昨年、町内で初めて岩和田区により発足した自主防災会が、本年は新町区に発足しました。こうした住民の方々に

による防災組織に消火器やメガホン、ハンディライイトなど

平成十年は十一月末現在、残念なことに四件の火災が発

し、この電池を取り替えない

と、いざというとき情報が聞けないばかりでなく、電池からの液もれにより受信機本体を壊してしまうことがあります。年一回、大掃除の機会に電池を交換するようにしましょう。



消防指導を受ける分団員

教育

教育は町づくりの原点

教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針を定め、その方針に基づいた次の教育目標にそって各種施策を推進しています。

◎豊かな心をもったたくましい児童生徒を育成し、開かれた学校の実現をめざし、人間形成と生涯学習基礎づくりに必要な教育を充実する。

◎健康でたくましい体力づくりと生きがいのある社会の実現をめざし、時代変化に対応できる学習環境づくりの実現に努める。

○中学校のパソコンを一新

情報教育の環境充実

【学校教育】

学校教育では、今年度小・中学校へインターネットの専用電話回線接続を行うとともに、中学校コンピューター教室の機器の入替え、増設を行

い、情報教育の環境づくりに取り組みました。今後は、学校での有効な活用が図られるよう技術支援や先生方の研修などのサポート体制を充実していきます。

また、国際理解教育として、外国青年（英語指導助手）招致事業や中学生の海外派遣事業を継続実施したほか、地域や家庭との連携を深めるふれあい給食、高齢者ふれあい教室、家庭教育学級などを開設し、地域に根ざした開かれた学校の実現に取り組みしました。

このほか、国の調査研究事業として導入された中学校への「心の教室」相談員の配置や家庭教育相談の公民館での開設など、相談しやすい環境づくりにも取り組んでいます。

学校給食については、衛生管理の徹底を図るため施設の改善を行うとともに、環境ホルモンの溶出が懸念されたポリ

リカーボネット製の食器の使用を中止し、児童・生徒や保護者の不安解消に努めました。

学校施設・設備の充実については、教育施設検討委員会での検討がつけられておりますが、地域住民の皆さんの教育施設に対する意見等をお聞きするため「地域懇談会」を開催しました。今後は、検討委員会からの答申や懇談会等の意見を踏まえ、早期に事業の具体化に努めます。

○身近なテーマで

好評の町民カレッジ

【社会教育】

町民の皆さん一人ひとりが、いつでも誰でも学ぶことができる生涯学習を目指し「町民カレッジ」の開設やパソコンを使つての県内の生涯学習の情報提供が可能となるシステムの稼働など、社会教育の充実に努めています。

特に、「町民カレッジ」は、幅広い年齢層が参加できるように「園芸」と「健康・教養」の二コース制とし、各三講座を計画、実施するとともに参加者アンケートを実施。より身近で親しまれる内容にと考

えています。

このほか、文化財審議委員会の協力を得て町内の史跡巡りの実施や体育指導委員によるパークゴルフ教室（二回開催）など体験型の行事についても積極的に計画しました。

今後も皆さんのご意見、ご要望を活かした社会教育・社会体育事業を公民館との連携をとりながら実施していきます。ご意見・ご要望をお寄せください。

御宿中学校

御宿中学校では、「新しい時代を担う・健康で知性と徳性を備えた・人間性豊かな生徒の育成」を教育目標に掲げ、全教育活動を通して、その目標達成に努めています。

今年度八月にコンピュータが三八台新たに設置され、生徒も積極的に活用し、学習の効率を上げています。また、学習面はもちろんのこと運動面でもよく努力し部活動では、バレーボール部、卓球部、陸上競技においては、県大会に出場することができました。

また、平成八年度に県より三カ年間の福祉教育推進校としての指定をうけ、「福祉に対する理解を深め、ボランティアなどの自発的な活動を推進することによって意欲をもって、主体的に取り組み生徒を育成する。」という研究目標を掲げ、体験活動を通して「思いやりの心」を育てていくと研究推進に努めています。

活動の実際としては、三十三年にわたる伝統的なボランティア活動である海岸清掃を行いました。この活動は、生徒一人一人が身近な環境を真剣にとらえることができ、生徒たちの心の中にも自然に福祉の心が生まれてきています。また、この活動が認められ「全国海岸協会」より表彰されました。その他、登校時間前に多くの生徒が自主的に集まり浅間祭りの後のゴミ拾いを行いました。夏休みには、リサイクル活動を行い、地域の方々の協力を得、連帯感や所属感を味わうことができました。九月には生徒代表が老人ホーム「外房」を訪問しました。ベッドメーカーキング・車



福祉体験学習

椅子・食事の介助を中心としたお年寄りとの交流、介護などの体験活動を通して「お年寄りのために何かして役立つ」という気持ちから「お年寄りから自分たちが学んでいる」という気持ちに変化した生徒の感想もありました。十月には御宿高校で福祉交流を行い、十一月には高齢者との交流会と会食を行いました。

福祉教育の推進は、子どもたちが体験活動を通して少しでも人間としての生き方についての考え方を深めることが

御宿小学校

きたと思います。この取り組みをこれからも継続的に積み重ねていきたいと思っています。そして、今後も子どもたちの内にある「温かい心」を信じ、援助し、教育実践にあたりたいと思います。

御宿小学校では、「児童にとって楽しい学校づくり」をモットーに、教育活動を推進しています。

また、文部省より平成九年・十年度と人権教育研究指定を受け、児童一人一人を大切にしたい教育のすすめ方について実践的な研究を行っています。

◇『体験やふれあいを重視』
一・二年生の生活科の学習では体験学習を重視し、積極的に海岸・朝市・児童館などに出かけ、御宿の自然や地域の方とのふれあいを通じて児童の心が、ウキウキ、ワクワクするような感動体験を計画的に行っています。

また、地域や保護者の皆さんに來校していただき、おじいちゃん先生、おかあさん先生として児童の学習生活の支援に協力してもらっています。「おかあさんって、こんなことも上手にできるんだね。」「おまわりさんって、こわいと思っていただけ、とっても優しいんだよ。」といった微笑ましい光景の中には、新しい発見や愛情の深まりが感じられ、心豊かな児童の成長にとっても大きな効果をもたらしています。

今後、心豊かな地域の皆さんや町の大自然との融合を教育計画に位置づけ、児童を学校や地域全体の総合力で健康やかに育てていけるよう準備をすすめています。

◇『思いやりのある児童育成』
本校では、人権教育推進の

中で、児童一人一人に思いやりの心を育てていくために、道徳・学級活動等の授業研究を行うとともに、集会活動をはじめ全ての教育活動を通して人権に配慮した指導を心がけています。

— 期待する児童の姿 —

- ① 進んで挨拶ができる。
- ② 人の話をきちんと聞ける。
- ③ 自分の考えをしっかりと伝える。
- ④ 過ちは素直に認め、あやまることができる。
- ⑤ 明るく素直な心で生活をする事ができる。
- ⑥ 友達のよいところを見つけられる。
- ⑦ 友達の立場や気持ちを考えられる。
- ⑧ 友達の過ちを許し、励ますことができる。
- ⑨ 誰にでも優しく接することができる。
- ⑩ 自分と違うところを認めることができる。

二年目を迎えた人権教育研究の成果が徐々に現れてきました。



ふれあい給食

岩和田小学校

学習中では、友達の見聞や気持ちを考えて発言が多く見られるようになってきました。

また、物事に落ち着いて取り組む姿も多く見られ、児童がそれぞれ得意の分野で個性を発揮し、各種コンクール等においても素晴らしい成績を修め、表彰を受けています。

これからも継続して、相手の立場に立って物事を考え、相手を思いやり、温かい手を差し出すことのできる児童の育成を目指し惜しみない力を注いでいきたいと思えます。

岩和田小学校

「ひろい心 じょうぶな体 ひろがる夢」を学校教育目標に掲げ、教育活動を推進しています。今年度は、特に地域に目を向けた体験学習を重視して取り組んでいます。

例えば、一年生の生活科ではてんぐさを材料にとろてんを作りました。二年生の生活科では選んだ素材を太鼓代わりに自分たちのお囃子作りをしたり、地域の素材を活かしたお神輿作りをしたりして、なかよし祭りを楽しみました。三年では、国語科での郷土料理レシピ本作りの発展として、

いかのさんが焼きや若布としたりのおつゆなどの郷土料理を作りました。五年では、地域の酸性雨を調べ、環境学習に取り組みました。

こうした学習の際に多くの地域の方々に教材の準備や授業中の指導などご支援をいただきました。

子供たちは、生き生きと学習し、郷土の良さに触れることができました。

地域に目を向けた体験学習

と同時に、自己決定の場を多く取り入れることにも重視しています。

例えば、修学旅行では、小田原から大涌谷までをグループ毎に決めたコースで散策しました。ふだんの授業でも、自分の興味・関心に合った活動ができるように複合化した展開を心がけています。

こうした学習の積み重ねにより生きる力が生まれるものと考えます。

今年度、町のサッカー大会・ミニバス大会ではみごとアベック優勝を果たしました。子供たちは少人数でもやればできるという確かな手応えをつかむことができました。

学校の多くの教育活動は、PTAや地域の方々の協力に支えられています。PTAを中心とした協力により年三回のリサイクルや保育所との合同運動会、バザーなど地域ぐるみで盛会に行われました。PTA広報部では夷隅郡市の広報紙コンクールで最優秀、県で第二位入賞と足でかせいだ紙面作りが高く評価されました。

今後とも、多くの方々のご

支援を得て教育目標の実現に邁進していききたいと思えます。

布施小学校

布施小学校では「新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな児童の育成を目指す。」を教育目標として「たくましい子 思いやりのある子 良く考える子」を掲げて学校教育を推進しています。

①本年度の試みとして、縦割り班活動の特設しました。わんぱくタイムにおける豊富なアスレチック施設の活用やマラソン大会、なわとび大会などで基礎体力づくりに励んでいます。

年三回開かれる学校保健委員会では、PTA役員出席のもとに昨年度に引き続き「目の健康」増進に取り組んでいます。また、学校医からの指導を受け視力回復への関心を深めています。

②校内研修では総合学習を取り上げました。

次期教育課程では、教科、道徳、特別活動と共に、これ

からの学校は、「生きる力」の育成を重視していかなくはなりません。

そのためには、各教科の教育内容を厳選し、時間を生み出し、地域社会との結びつきを深め、総合的な学習を展開していくことにより、地域に生まれ育つ児童が、地域と共に進歩していく必要があると考えます。

③豊かな自然と長い歴史のある本校は、地域の方々と交流としてもちつき大会、凧上げ大会等の計画実践を積み重ねています。

また、土曜日にはV・S活動の時間を設定し、「自分ができることはないか。」と考え自主的に活動する態度を培っていきます。

先日、行われた布施まつり大会（もちつき大会）では、総合学習の一環としての縦割り班活動による班別発表、もちつき、その後の会食等が行われました。これもPTAを中心とした保護者や地域の方々の温かい協力体制があればこそ、地域と学校一体の活動ができたのだとおもいます。

公民館

公民館は様々な生涯学習を通じて、人づくり、地域づくりを育むことを目的としています。学校教育の五日制完全実施や高齢者社会の到来等、余暇利用の充実が求められる中、町民の皆さんのご要望に応じ、「であい・ふれあい・まなびあい」の生きがいの道しるべを指標として、各種教室・講座等を開催し、学習機会の提供やサークル活動などの支援を行っています。

青少年健全育成は、「子どもは地域で育む、地域は子どもで結ばれる」を合い言葉に、子ども会活動の支援や、青少年相談員・体育指導員をはじめとする地域の皆さんと連携を図りながら、二十一世紀を担う子どもたちの育成に向けてインリーダー講習会、レクリエーション大会等の事業を実施しています。

今後も、住民の皆さんにお気軽に利用戴ける施設づくりをモットーに運営に当たります。ご意見ご要望をお待ちしています。

B&G海洋センター

海洋センターでは、体育館・プール・トレーニングルーム等を活用して健康運動プログラムを実施しています。

リズム体操教室は、幼児期からの正しい運動習慣を身につける目的で実施しており、運動能力測定の結果、ほとんどの項目で全国平均値を上回る成果が得られています。

一般向けには、健康づくりを目的としたエアロビクス講習会、トレーニングルームの活用促進等、日常生活の中で気軽に取り組める運動を紹介しています。

今後もグラウンド等の体育施設を活用し、町民の皆さんのコミュニティづくり、健康づくりに向けて事業を展開して行きます。

お気軽にご利用ください。

観光

メキシコ記念塔建立 七〇周年記念事業を実施

一九二八年にメキシコ記念塔（日・西・墨三国交通発祥記念之碑）が建立してから今年で七〇周年を迎え七月十九・二十日に建立七〇周年記念及びアカプルコ市姉妹提携二〇周年記念式典が開催され

ました。

メキシコ大使、アカプルコ市長、沼田県知事、三木元総理大臣夫人他多くの来賓のご臨席を賜り、ダリアの記念植樹や式典、マリアッチコンサートと同時開催されたメキシコ輸入品フェア



メキシコ文化を紹介したマリアッチコンサート

での民芸品、飲食物の展示販売で町民・観光客に広くメキシコやアカプルコ市との交流を紹介できました。これからも史実を観光資源とした観光客誘致を推進していきます。

今夏の観光客の入り込みは、長梅雨の影響で全体的に天候が定まらず前年度に比べ一三％減少し、五五七八五〇人。経済低迷

の煽りもあって三年連続の減少となってしまいました。

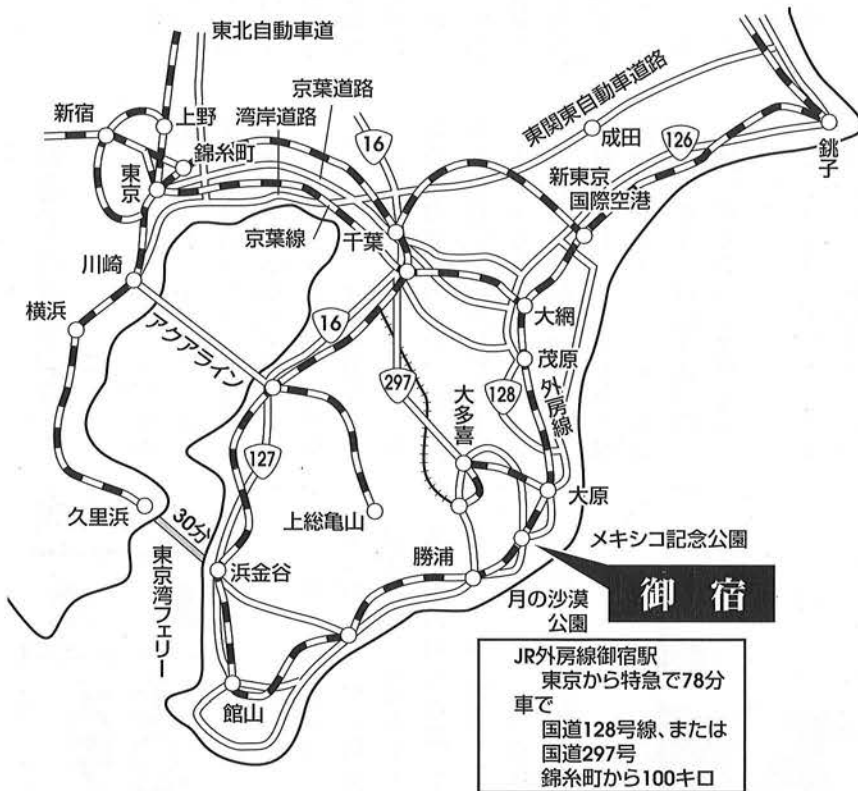
半島性の解消に寄せる期待の大きかったアクアラインも開通して一周年を迎えますが、エージェントによる団体客の誘致で他県の観光バスを多く目にするようになったものの、団体客を迎え入れる施設がなかったため地元への経済的な効果は顕著ではありませんでした。

現在進めている物産品の開発、地元産品の紹介や総合的な観光情報の提供ができる拠点としての「道の駅」。交通網の発達により通過点となりつつある御宿を、それを媒体として一時でも足止めし、滞留時間の延長、交流人口の増加につながることを考えると考えられます。

今後も交流人口の増加を念頭において、恵まれた自然景観を利用した企画の実施、また、全日本学生ライフセービング選手権大会のような御宿のイメージに合ったイベントの誘致を推進していきたいと考えます。

数字で見る おんじゅくのすがた

資料編

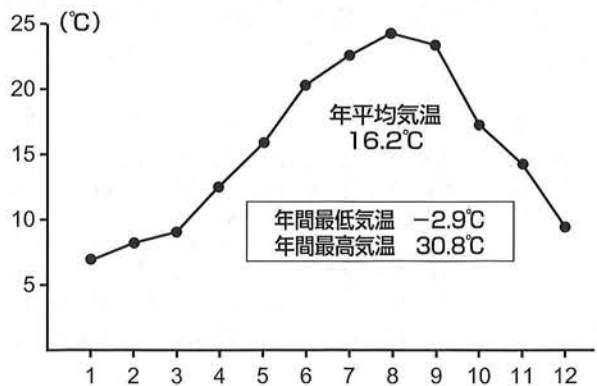


- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県の東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。東経140度21分7秒。北緯35度11分19秒の地点にある。
- 面積……25.05²

■年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
平成9年	16.2	30.8	-2.9	1328.5

■平成9年の平均気温



■平成9年の月別気温・降雨量

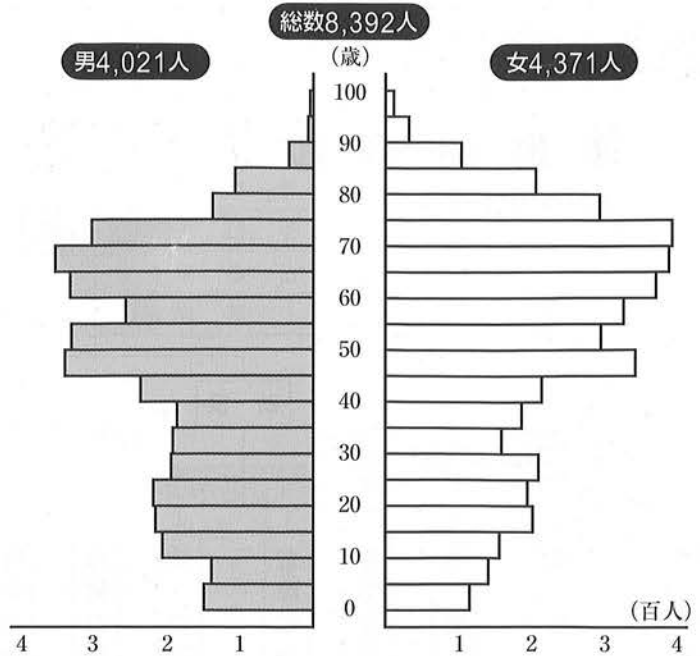
区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	6.8	7.0	10.5	14.5	17.8	20.6	23.1	24.7	26.8	18.5	14.7	9.6℃
最高	16.9	18.5	21.5	21.2	24.1	26.5	29.4	30.2	30.8	25.5	22.5	20.0℃
最低	-1.8	-2.9	1.9	4.3	7.8	12.8	17.6	18.2	14.9	7.3	6.8	2.2℃
降雨量	46.5	91.0	114.0	135.5	124.0	133.5	185.5	20.0	173.5	36.0	196.0	73.0mm

■行政区別世帯数と人口

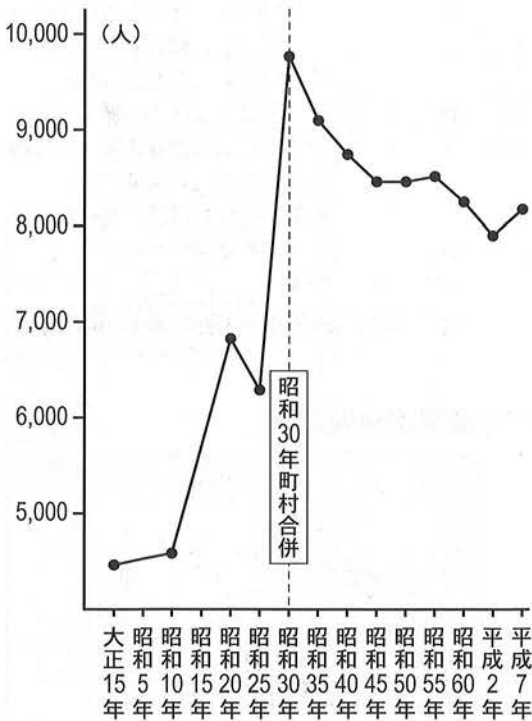
(H10.12.1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	349	443	450	893
浜	259	360	399	759
高 山 田	93	141	147	288
久 保	464	560	674	1,234
新 町	469	608	687	1,295
六 軒 町	243	323	327	650
岩 和 田	451	692	732	1,424
実 谷 七 本	140	241	251	492
上 布 施	225	360	371	731
御 宿 台	340	286	336	622
合 計	3,033	4,014	4,374	8,388

■5歳階級別人口



■人口の動き (国勢調査)



■人口の推移

年 次	世帯数	人 口			1 世 帯 平均人員	人口密度 人/km ²
		総 数	男	女		
大正15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成 2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	317
7	2,659	8,129	3,850	4,279	3.0	326

■人口動態

(H9.1.1~H9.12.31)

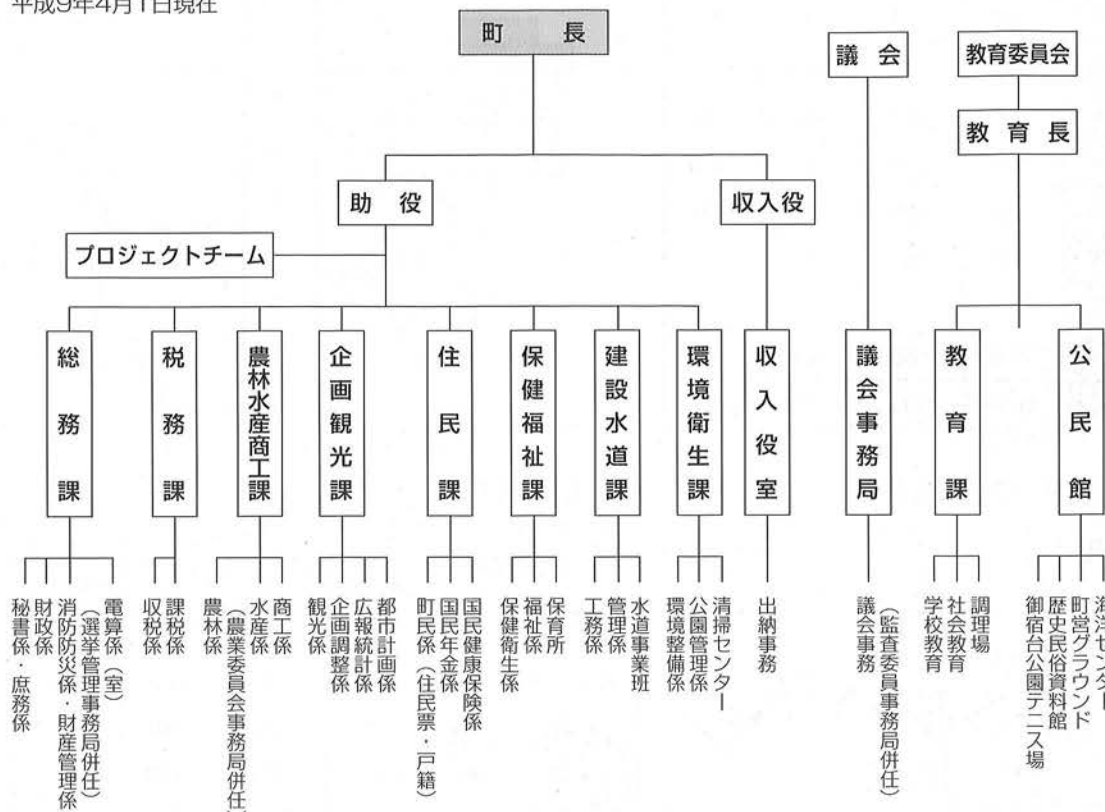
年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和30年	184	74	110	19	68	9	484	784	△300
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△ 57
60	60	81	△21	4	45	8	319	351	△ 32
平成 8年	44	82	△38	4	32	10	305	351	△ 46
平成 9年	49	89	△40	0	36	14	366	341	25

自然人口

行政・議会

機構組織図

平成9年4月1日現在



議会

- 議員定数16人(法定数22人)
※次の一般選挙から14人(平成10年9月17日可決)
- 常任委員会
 総務常任委員会 (6)
 産業建設常任委員会 (5)
 教育民生常任委員会 (5) ()内委員数

議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請陳件	願情数
	回数	会期	町長提出議案	議員提出議案	回数	会期	町長提出議案	議員提出議案		
元	4	11	42	2	6	6	9	3	4	
2	4	10	45	5	5	5	13	0	8	
3	4	10	56	3	5	5	8	0	6	
4	4	11	53	6	1	1	2	0	1	
5	4	11	44	8	2	2	2	0	2	
6	4	10	55	7	4	4	7	0	16	
7	4	10	39	5	2	2	13	0	10	
8	4	11	42	6	1	1	3	0	23	
9	4	11	38	10	1	1	3	0	26	

課別職員数

(H10.12.1)

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	14	10	4
企画観光課	8	8	0
農林水産商工課	5	5	0
税務課	8	5	3
建設水道課	10	9	1
環境衛生課	10	9	1
住民課	7	2	5
保健福祉課	11	4	7
議会事務局	3	2	1
教育委員会	4	3	1
公民館	7	6	1
保育所	18	0	18
調理場	6	0	6
合計	113	64	49
社会福祉協議会	7	3	4

■歴代議長（町村合併後）

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和30.3.31	昭和32.9.30
浅野 航海	" 32.10.1	" 34.9.30
新井 清治	" 34.10.1	" 40.9.30
関 龍雄	" 40.10.1	" 44.9.30
中村 喜一	" 44.10.11	" 48.10.31
江沢 富士松	" 48.12.4	" 50.9.30
岩崎 栄一郎	" 50.10.1	" 54.9.30
石田 行雄	" 54.10.1	" 56.9.30
井上 泰爾	" 56.10.1	" 58.9.30
井上 浩一	" 58.10.1	" 60.3.12
白鳥 時雄	" 60.4.16	" 62.9.30
関野 正治	" 62.10.1	平成元年9.21
佐藤 高二	平成元年9.21	" 3.9.30
君塚 秀雄	" 3.10.1	" 5.9.21
岡村 甲純	" 5.9.21	" 7.9.30
鶴岡 清二	" 7.10.1	" 9.9.18
貝塚 貞利	" 9.9.18	" 10.9.17
君塚 亮一	" 10.9.17	在任中

■歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
町長職務 (執行者)	大地 重直	昭和30.3.31	昭和30.5.15
1	井上 文吉	" 30.5.16	" 42.5.14
2	岩井 敏夫	" 42.5.15	" 54.5.14
3	高梨 秀治	" 54.5.15	" 62.5.14
4	滝口 栄藏	" 62.5.15	平成 6.1.25
5	伊藤 治昌	平成 6.3.13	" 10.3.12
6	加藤 長	" 10.3.13	在任中

■歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和30.10.18	昭和 38.10.17
2	岩井 敏夫	" 39.1.10	" 42.4.17
3	佐藤 清司	" 42.12.20	" 45.10.31
4	浅野 興典	" 47.4.1	" 54.5.14
5	池田 覚道	" 55.3.1	" 62.5.14
6	大谷 良司	" 62.6.15	平成 7.6.14
7	加藤 長	平成 7.6.15	" 9.11.15
8	関 邦昭	平成10.7.1	在任中

■投票区別有権者数

(7年9月現在)

区分	地区	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,660	1,223	1,437
第2投票区	須賀・浜・高山田	1,671	807	864
第3投票区	岩和田	1,193	563	630
第4投票区	上布施	583	276	307
第5投票区	実谷・七本	409	195	214
第6投票区	御宿台	518	228	290
総数		7,034	3,292	3,742

■歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和29.2.13	昭和30.10.17
2	佐藤 清司	" 30.10.18	" 42.12.19
3	浅野 興典	" 42.12.20	" 47.3.31
4	和田 正美	" 47.4.1	" 54.5.14
5	岩瀬 剛	" 54.7.1	" 62.5.14
6	吉田 庸二	" 62.6.15	在任中

■最近の選挙における投票状況

選挙名	執行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率 (%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
参議院議員選挙	H元.7.23	6,382	2,982	3,400	3,839	1,810	2,029	60.15	60.70	59.68
衆議院議員 "	H2.2.18	6,397	2,994	3,403	5,360	2,460	2,900	83.79	82.16	85.22
参議院議員 "	H4.8.29	6,675	3,103	3,572	3,148	1,479	1,651	47.16	48.24	46.22
県知事 "	H5.3.14	6,683	3,113	3,570	3,249	1,500	1,749	48.62	48.19	48.99
衆議院議員 "	H5.7.18	6,757	3,150	3,607	4,739	2,189	2,550	70.13	69.49	70.70
町長 "	H6.3.13	6,762	3,156	3,606	5,921	2,719	3,202	87.56	86.15	88.80
参議院議員 "	H7.7.23	6,901	3,228	3,673	3,279	1,545	1,734	47.51	47.86	47.21
町議会議員 "	H7.9.24	6,899	3,228	3,671	6,218	2,885	3,333	90.13	89.37	90.79
小選挙区選出議員選挙	H8.10.20	7,003	3,265	3,738	4,412	2,039	2,373	63.00	62.45	63.48
比例代表区 "	"	7,003	3,265	3,738	4,409	2,037	2,372	62.96	62.39	63.46
最高裁国民審査	"	7,003	3,265	3,738	4,319	1,994	2,325	61.67	61.07	62.20
県知事選挙	H9.3.16	6,935	3,242	3,693	3,268	1,496	1,772	47.12	46.14	47.98

※平成3年(4月)県議会議員選挙、(4月)町長選挙、(9月)町議会議員選挙、平成7年(4月)県議会議員選挙は無投票

■平成9年度一般会計歳入決算

歳 入

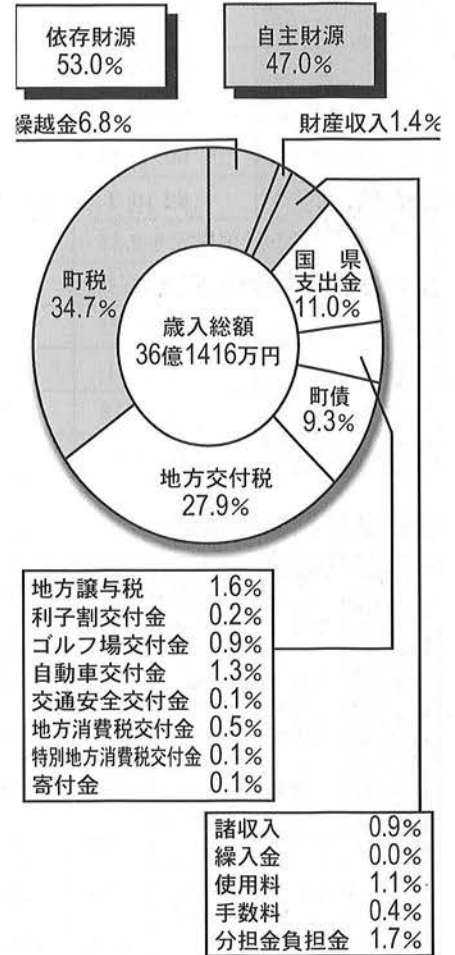
(単位:千円)

年度 科 目	平成9年度		平成8年度		比 較	
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②/③	③/②
1. 町 税	1,252,524	34.7	1,246,376	38.1	6,148	0.5
2. 地方譲与税	59,069	1.6	73,641	2.3	△14,572	△19.8
3. 利子割交付金	7,143	0.2	9,618	0.3	△2,475	△25.7
4. 消費税交付金	18,421	0.5	—	—	18,421	皆増
5. ゴルフ場交付金	33,310	0.9	32,664	0.9	646	2.0
6. 特別地方消費税交付金	4,520	0.1	2,391	0.1	2,129	89.0
7. 自動車交付金	48,230	1.3	41,693	1.3	6,537	15.7
8. 地方交付税	1,009,686	27.9	942,423	28.8	67,263	7.1
内 普 通	921,730	25.5	855,267	26.2	66,463	7.8
内 特 別	87,956	2.4	87,156	2.6	800	0.9
9. 交通安全特別対策交付金	1,896	0.1	1,597	0.1	299	18.7
10. 分担金負担金	61,202	1.7	54,153	1.7	7,049	13.0
11. 使 用 料	40,558	1.1	40,668	1.2	△110	△0.3
12. 手 数 料	14,269	0.4	14,184	0.4	85	0.6
13. 国庫支出金	231,694	6.4	188,872	5.8	42,822	22.7
14. 県 支 出 金	164,058	4.6	170,739	5.2	△6,681	△3.9
15. 財 産 収 入	49,555	1.4	62,992	1.9	△13,437	△21.3
16. 寄 付 金	1,920	0.1	940	0.1	980	104.3
17. 繰 入 金	1,672	0.0	2,167	0.1	△495	△22.8
18. 繰 越 金	245,414	6.8	142,190	4.3	103,224	72.6
19. 諸 収 入	33,618	0.9	30,832	0.9	2,786	9.0
20. 町 債	335,400	9.3	211,600	6.5	123,800	58.5
合 計	3,614,159	100.0	3,269,740	100.0	344,419	10.5

財 政

■平成9年度一般会計

歳入財源別構成比



■平成9年度住民負担の状況

町民1人当たり・円

町民税  43,023円	町たばこ税  6,268円
固定資産税  94,504円	入湯税  103円
軽自動車税  968円	特別土地保有税  8,935円

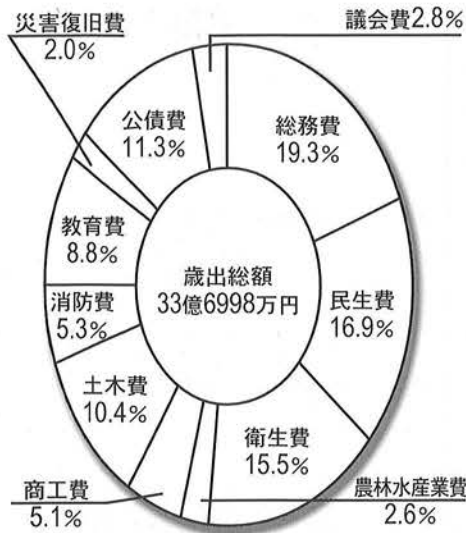
■町税負担状況の推移

年度	町税総額 千円	一世帯当り 負担額 円	一人当り 負担額 円
35	15,166	7,408	1,635
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
平成2	903,012	336,317	108,365
7	1,182,192	403,464	139,752
8	1,275,097	433,559	152,378
9	1,290,690	429,943	153,800

(滞納繰越金、国などから交付される
固定資産税を除く)

■平成9年度一般会計

目的別歳出決算

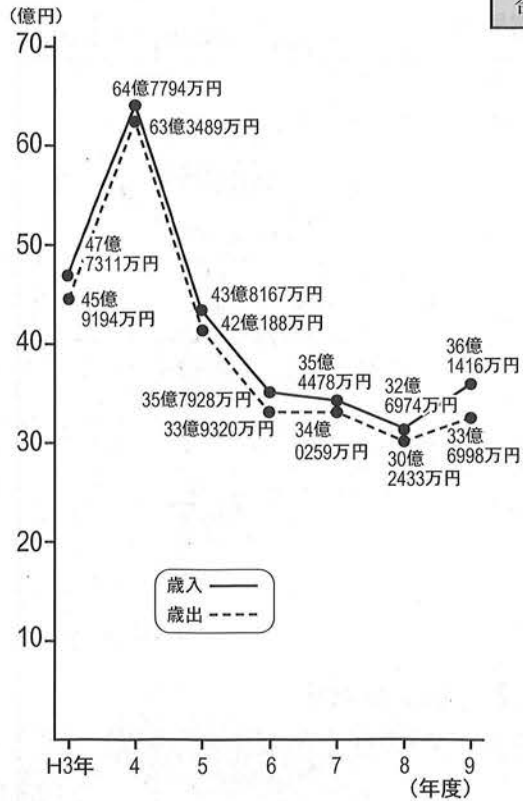


■平成9年度一般会計歳出決算

(単位: 千円)

科目	平成9年度		平成8年度		比較		前年度増減率 (%)
	決算額①	増減率 (%)	決算額②	増減率 (%)	①-②③	③/②	
1. 議会費	94,891	2.8	92,816	3.1	2,075	2.2	6.9
2. 総務費	650,615	19.3	644,721	21.3	5,894	0.9	△13.8
3. 民生費	570,054	16.9	483,938	16.0	86,116	17.8	8.6
4. 衛生費	521,221	15.5	330,962	11.0	190,259	57.5	△32.2
5. 農林水産業費	89,391	2.6	129,357	4.3	△39,966	△30.9	△49.8
6. 商工費	171,891	5.1	132,543	4.4	39,348	29.7	8.0
7. 土木費	349,665	10.4	255,503	8.4	94,162	36.9	△37.3
8. 消防費	179,872	5.3	170,389	5.6	9,483	5.6	8.5
9. 教育費	294,686	8.8	278,506	9.2	16,180	5.8	△3.8
10. 災害復旧費	68,480	2.0	139,236	4.6	△70,756	△50.8	111.9
11. 公債費	379,212	11.3	366,355	12.1	12,857	3.5	8.7
合計	3,369,978	100.0	3,024,326	100.0	345,652	11.4	△11.1

■一般会計決算額の推移



■性質別歳出

科目	平成9年度		平成8年度		比較	
	決算額①	増減率 (%)	決算額②	増減率 (%)	①-②③	③/②
1. 消費的経費	2,262,396	67.2	2,062,053	68.2	200,343	9.7
(1) 人件費	872,216	25.9	847,965	28.0	24,251	2.9
(2) 物件費	595,820	17.7	528,111	17.5	67,709	12.8
(3) 維持補修費	12,687	0.4	4,572	0.2	8,115	177.5
(4) 扶助費	150,772	4.5	133,909	4.4	16,863	12.6
(5) 補助費等	483,831	14.4	473,268	15.6	10,563	2.2
(6) その他(積立金等)	147,070	4.3	74,228	2.5	72,842	98.1
2. 投資的経費	626,456	18.6	516,897	17.1	109,559	21.2
(1) 普通建設事業	555,923	16.5	377,661	12.5	178,262	47.2
(2) 災害復旧事業	70,533	2.1	139,236	4.6	△68,703	△49.3
3. 公債費	379,062	11.2	366,188	12.1	12,874	3.5
4. 繰出金	102,064	3.0	79,188	2.6	22,876	28.9
合計	3,369,978	100.0	3,024,326	100.0	345,652	11.4

■財政の変遷

年度	当初予算額	決算			基準財政需要額	基準財政収入額	地方交付税額	財政力指数
		歳入	歳出	差引残高				
2	3,053,175	2,821,324	2,635,562	185,762	1,554,109	765,990	871,218	0.474
3	4,641,891	4,773,109	4,591,935	181,174	1,623,468	864,033	841,958	0.493
4	6,402,248	6,477,940	6,334,892	143,048	1,787,485	969,759	942,084	0.523
5	4,052,000	4,381,667	4,201,878	179,789	2,017,532	1,038,088	1,059,961	0.530
6	3,338,000	3,579,279	3,393,203	186,076	1,956,160	993,790	1,041,161	0.522
7	3,160,000	3,544,779	3,402,589	142,190	1,894,741	1,030,544	936,052	0.522
8	2,965,000	3,269,740	3,024,326	245,414	1,956,958	1,101,691	942,423	0.563
9	3,017,000	3,614,159	3,369,978	244,181	2,064,783	1,141,199	1,009,686	0.553

■平成9年度会計別決算

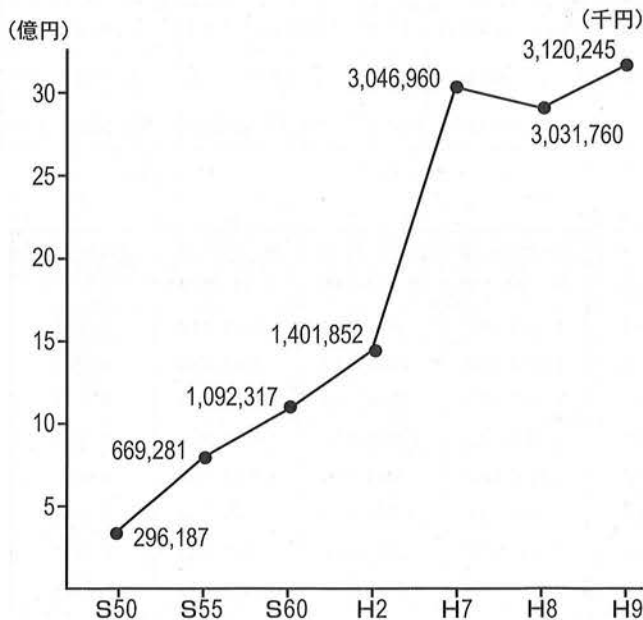
会 計	区 分	予 算 額	決 算 額
一 般 会 計	歳 入	3,476,211,200	3,614,158,785
	歳 出	3,476,211,200	3,369,977,936
	差 引 残 高	0	244,180,849
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	歳 入	737,710,000	781,456,218
	歳 出	737,710,000	669,540,622
	差 引 残 高	0	111,915,596
老 人 保 健 特 別 会 計	歳 入	931,553,000	920,685,021
	歳 出	931,553,000	907,863,604
	差 引 残 高	0	12,821,417
総 合 計	歳 入	5,145,474,200	5,316,300,024
	歳 出	5,145,474,200	4,947,382,162
	差 引 残 高	0	368,917,862

■水道事業会計決算

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 対 する 増 減
水道事業収益	208,184,000	208,670,186	486,186
営業収益	172,723,000	181,206,930	8,483,930
営業外収益	35,461,000	27,463,256	△7,997,744

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
水道事業費用	221,331,000	211,696,432	9,634,568
営業費用	188,258,000	178,958,036	9,299,964
営業外費用	32,873,000	32,738,396	134,604
予 備	200,000	0	200,000

■町の借金



■町有財産

平成10年3月31日現在

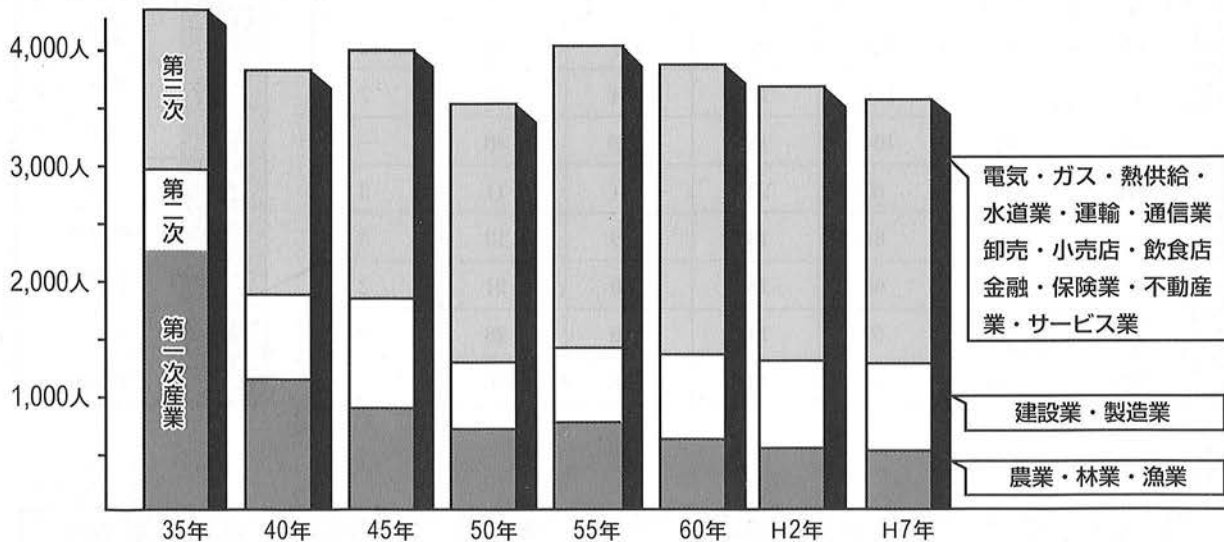
土 地 788,962	
建 物 35,251	
出資による権利 3,902万円	
土地開発基金 預 金 1,610万円 預託金 4,890万円	
財政調整基金 1億7,421万円	
減債基金	7,700万円
地域福祉基金	3,083万円
開発基金	172万円
国民年金印紙購入基金	600万円
し尿収集手数料収入証紙購入運用基金	0万円

産業

■産業別就業者数

区分	種別	40年		45年		50年		55年		60年		平成2年		平成7年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 水産、養殖業	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4	409	10.8	387	10.5
第2次産業	鉱業、建設業、製造業	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1	1,228	32.4	1,065	28.9
第3次産業	卸小売、金融、保険業、その他	1,415	37.0	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5	2,151	56.8	2,238	60.6
計		3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0	3,788	100.0	3,693	100.0

■産業別就業者数の推移



■所得者別 所得金額

所得者区分	年次	4	5	6	7	8	9
給与所得者		6,931,300	7,421,010	7,646,823	7,733,194	7,618,646	7,669,702
営業所得者		702,866	666,111	513,848	492,309	488,243	439,912
農業所得者		18,375	13,377	9,518	23,402	5,579	11,998
その他事業所得者		425,392	378,967	400,022	450,289	349,887	372,536
その他の所得者		466,795	549,448	644,125	640,809	851,141	790,300
譲渡所得者		3,037,810	942,613	961,536	837,658	804,234	462,615
計		11,582,538	9,971,526	10,175,872	10,177,661	10,117,730	9,747,063



農業

■農家数の動き

(戸)

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
昭和 35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
平成 2	340	31	16	293
平成 7	322	32	10	280

■農業機械所有台数

(台)

組 合	動力耕うん機・農用トラクター	自脱コンバイン	米乾燥機	麦乾燥機	用機	田植機
昭和50	398	3	305			141
55	478	113	322			210
60	501	164	311			254
平成 2	64 (乗用のみ)	200	263			247
7	83 (乗用のみ)	203	246			235

■経営規模別農家数の動き

(戸)

年 度	総 数	30未満 (a)	30～50 (a)	50～100 (a)	100～150 (a)	150以上 (a)	例外規定
昭和 35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
平成 2	340	39	69	146	56	28	2
7	322	46	57	133	58	26	2

■水稻収穫面積

(単位：アール)

年 度	水 稻
昭和 35	33,850
40	32,835
45	28,108
50	22,549
55	19,930
60	19,357
平成 2	16,727
7	15,506

■農家の推移

(H8.2.1)

年度	農家数 (戸)	増 減		農 家 口 (戸)	増 減		一 戸 当 たり 農 家 人 口 (人)	町 総 世 帯 数 (戸)	町 総 世 帯 数 対 農 家 率 (%)	町 総 人 口 (人)	町 総 人 口 対 農 家 人 口 率 (%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						農家数 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△560	△ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△ 10.7	2,882	△577	△ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△138	△ 22.7	2,204	△678	△ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△263	△ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△ 10.0	1,667	△274	△ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
2	340	△ 47	△ 12.1	1,413	△254	△ 15.2	4.2	2,679	12.7	8,337	16.9	282	217	60	4
7	322	△ 18	△ 5.9	1,310	△103	△ 7.3	4.1	2,659	12.1	8,129	16.1	249	208	37	42

漁業

■年次別組合水揚高

(単位:千円)

種別	御 宿			岩 和 田		
	7年	8年	9年	7年	8年	9年
魚類	168,178	174,381	135,299	434,182	519,546	491,894
貝類	21,648	10,305	12,289	65,123	21,709	37,442
計	189,826	184,686	147,588	499,305	541,255	529,336

■漁港施設 (平成9年)

項目	御 宿 岩 和 田	
	御 宿	岩 和 田
けい船岸延長 (m)	485	759
外かく施設延長 (m)	685	1,021
最大入港トン数 (t)	20	10
登録漁船隻数 (隻)	59	132
利用漁船隻数 (隻)	69	143

■おもな魚種別水揚

(単位:トン)

魚種別	御 宿			岩 和 田		
	7年	8年	9年	7年	8年	9年
たい	6	8	10	0	2	1
わらさ	0	0	0	0	0	0
ひらめ	3	4	3	16	24	28
ぶり	0	0	0	11	80	176
いか	84	120	54	139	222	113
かつお	120	72	106	304	211	253
まぐろ	7	4	0	50	27	35
あわび	1	1	1	7	2	4
さざえ	7	2	4	7	2	3
すずき	2	1	1	3	2	2
とびうお	0	0	8	0	1	9
雑魚	15	14	20	27	38	11
えび	1	2	2	6	9	8
計	246	228	211	570	620	643

■漁業協同組合の状況

(H.10.9現在)

組合名	御 宿		岩 和 田	
	平成9年	平成10年	平成9年	平成10年
正組合員	101	95	418	403
準組合員	68	66	27	40
合計	169	161	445	443

■漁業種別水揚量

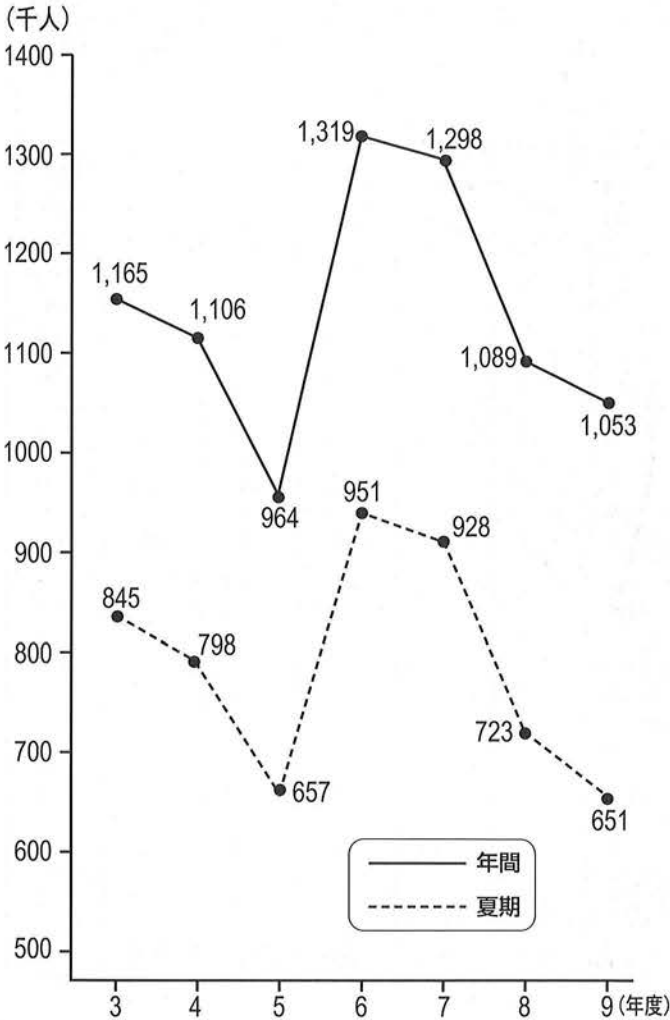
(単位:トン)

種類	御 宿			岩 和 田		
	7年	8年	9年	7年	8年	9年
まき網	7	0	0	0	0	0
刺網	3	5	12	16	89	185
いか釣	84	120	54	139	222	113
その他の釣	144	99	137	397	297	338
採貝	5	2	5	9	4	7
採藻	0	0	0	0	0	0
その他の漁業	3	2	3	9	8	0
総計	246	228	211	570	620	643

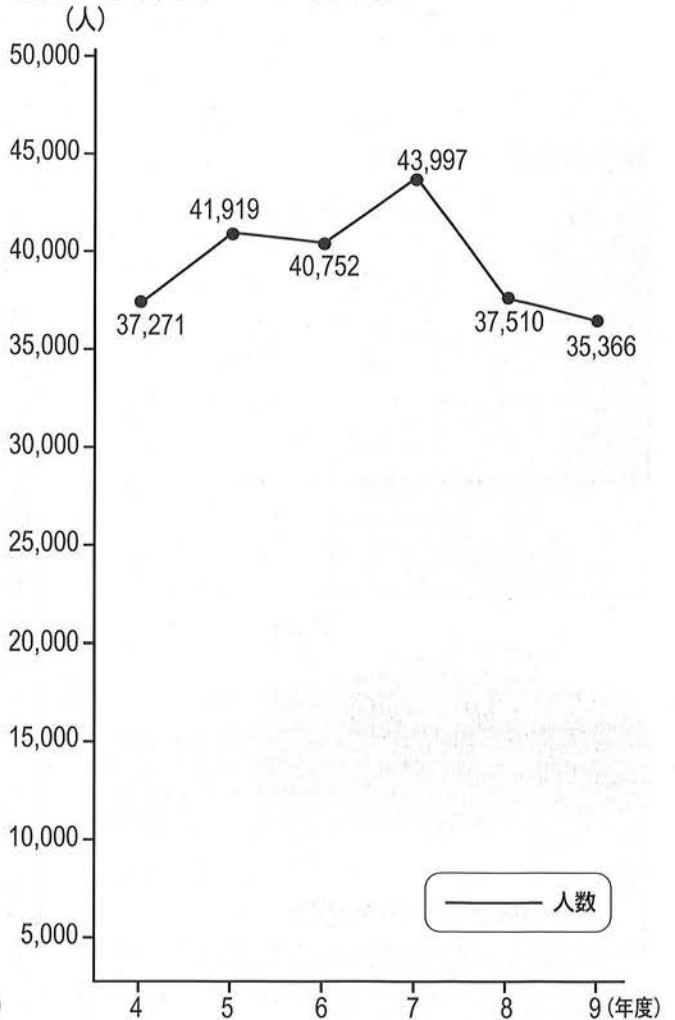


観光

■観光客数



■月の沙漠記念館の入場者数



■観光施設及び入込数

区 分	年 度	昭 和				平 成			
		45 年	50 年	55 年	60 年	2 年	7 年	8 年	9 年
観光客数 (人)	夏期	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	1,008,000	928,000	723,200	651,000
	年間	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,283,000	1,298,000	1,089,000	1,053,000
旅 館 (軒)		20	21	17	17	23	21	21	
民 宿 (軒)		200	250	270	244	240	215	194	
海 の 家 (軒)		33	32	32	31	29	26	26	
駐 車 台 数 (有 料)		12,512	15,151	18,018	31,346	36,993	36,170	33,730	31,415
観 光 収 入 (推 計 千 円)		369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	3,831,600	4,260,350	3,609,250	3,530,400
町 の 観 光 投 入 額 (千 円)		56,000	12,504	20,968	30,434	57,511	49,844	52,097	87,638

商工業

■工業（製造業）の状況

年	事業所数	従業者数	年間製造品 出荷額
昭和50	49 戸	615 人	百万円 1,287
60	35	489	2,259
平成2	28	376	2,054
5	25	302	1,590
8	20	214	1,457

■商業の状況

項目	商店数	従業者数	年間商品 販売額	売場面積
卸売業計	15 店	61 人	百万円 1,852	-
繊維、衣服、身の 回り品小売業	10	33	355	1,554
飲食料品小売業	54	243	4,650	4,591
自動車、自転車、 小売業	4	9	92	373
家具、建具、じゅう 器小売業	19	57	587	1,236
その他小売業	36	157	2,366	2,018
小売業計	123	499	8,050	9,772
計	138	560	9,902	9,772

交通

■自動車保有台数

車種	御宿町
普通乗用車	673
小型乗用車	1,892
貨物自動車	244
貨客兼用車	184
バス	13
軽自動車 (4輪)	1,271
特殊用途車	24
計	4,301

■交通事故発生件数の推移

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
2		49	0	78
3		55	0	84
4		56	0	84
5		56	3	76
6		44	1	78
7		30	3	46
8		37	0	45
9		35	0	50

建設

■建築届出件数の推移

年	区分	専用	旅館店	共同	併用	工場	その他	計
		住宅	舗簡易 宿泊所	住宅	住宅	倉庫		
元		101	6	4	6	4	12	133
2		153	7	0	11	5	12	188
3		176	8	3	4	1	12	204
4		91	7	0	15	5	9	127
5		68	3	0	9	4	4	88
6		99	3	1	2	2	10	117
7		90	3	2	1	2	6	104
8		102	2	2	1	5	5	117
9		76	4	3	2	4	3	92

■林道の状況

項		目	本数	数値
林業 施設	林道延長 (m)	市町村	13	12,378m
		国	—	—
		その他	—	—
		計	13	12,378m

■道路の状況

		単位	町道	県道	国道	計		
路実	線延長	本	1,462	4	1	1,467		
		m	253,315	11,233	3,939	268,487		
内訳	改良	m	76,338	11,203	3,939	91,480		
	未改良	m	176,977	30	—	177,007		
種類内訳	橋	m	91カ所 541	8カ所 117	1カ所 14	672		
	梁道延長	m	8カ所 438	1カ所 11	5カ所 351	800		
幅員別内訳	改良	13 m 以上	m	34	11	—	45	
		5.5 m 以上	m	19,321	8,254	3,717	31,292	
		5.5 m 未満	m	56,983	2,939	222	60,144	
	未改良	5.5 m 以上	m	—	—	—	—	
		3.5 m 以上	m	—	—	—	—	
		3.5 m 未満	m	176,977	30	—	177,007	
自動車交通不能		m	127,194	—	—	127,194		
路面別内訳	未舗装道		m	157,694	—	—	157,694	
	舗装道	セメント系	m	4,404	85	351	4,840	
		アスファルト系	高級	m	—	7,892	3,588	11,480
			簡易	m	91,217	3,257	—	94,474
		計		m	95,621	11,234	3,939	110,794

■町道の内訳

(H10.4.1)

項	目	数	値
道	実延長 (m)		253,315
	路面面積 (m ²)		828,364
	改良済延長 (m)		76,338
	舗装済延長 (m)		95,621
	自動車交通不能道延長 (m)		127,194
	歩道延長 (m)		9,020
	防護柵延長 (m)		7,075
路	歩道橋 (m)	2カ所	27
	市町村道と鉄道との 交差箇所数		7
	うち立体 交差箇所数		5

実延長 の内訳	1.5 m ~ 5.5 m (m)	233,960
	5.5 m 以上 (m)	19,355
	計	253,315

■消火栓の設置場所

No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区
1	鶴岡	実須賀	38	スナック樹里入口	久保	75	専修大学セミナーハウス	岩和田
2	伊藤治助	"	39	B&G海洋センター	"	76	木原政吉	"
3	神定建設倉庫	"	40	遠藤智子	"	77	波月荘入口	"
4	本吉勇	"	41	ウエムラカメラ	"	78	吉田征夫	七本
5	佐伯進	"	42	秋葉正雄	新町	79	吉野茂男	"
6	渡辺治男	"	43	滝口松蔵	"	80	吉田要	"
7	須賀三ッ角	"	44	伊藤勘助	"	81	君塚芳男	実谷
8	滝口清次郎	"	45	新井勝	"	82	君塚俊成	"
9	日高五郎	"	46	鶴岡石材店	"	83	実谷上公会堂	"
10	中央海岸駐車場料金所	"	47	水谷印刷	"	84	吉野茂夫	"
11	三上信雄	"	48	理容つばき	"	85	君塚静男	"
12	露崎英三	"	49	熊谷喜六(天の守)	"	86	吉野栄	"
13	鶴岡國雄	"	50	岩瀬齒科	"	87	吉野竹芳	"
14	元湯温泉	浜	51	鈴木巖	"	88	吉野こう	"
15	式田みつ	"	52	井上邦彦	"	89	吉野健夫	"
16	大谷福蔵	"	53	松下弘秀	六軒町	90	石井芳清	上布施
17	渡辺松一	"	54	幸保常次	"	91	吉野進一	"
18	松本君江	"	55	板垣雅則	"	92	元大地病院	"
19	米本良司海岸店	"	56	鈴木輝一	"	93	三輪篤子(グリーンランド)	"
20	浜海岸案内所	"	57	金井三男	"	94	布施駐在所	"
21	はまや商店	"	58	清水禮司	"	95	布施小学校	"
22	浜天王台	"	59	六軒町補生堂	"	96	吉野泰成	"
23	小池春夫入口	高山田	60	立石明男	"	97	石井勇	"
24	嶋田利定	"	61	堺川生活排水処理施設	"	98	石井博一	"
25	高山田区民館入口	"	62	埋田勝弘	岩和田	99	井上儀一	"
26	峰岸俊長	"	63	藤井昭	"	100	石井惣次	"
27	鈴木祐雄	"	64	岩井敏夫	"	101	佐藤良雄	"
28	岩瀬信泰	"	65	小川征	"	102	吉野菊彦	"
29	君塚磐雄	久保	66	畑中いち	"	103	佐藤テルエ	"
30	大地寿美子	"	67	水上定雄	"	104	新井久栄	"
31	御宿保育所前	"	68	入宿町内宿	"	105	佐藤勝巳	"
32	天津英男	"	69	大野元芳	"	106	新井隆	"
33	白鳥重和	"	70	水野八郎	"	107	佐藤一男	"
34	御宿中踏切寄道路	"	71	高梨孝	"	108	大地和美	"
35	斉藤利夫(南畑田)	"	72	氏原忠	"	109	佐藤高二	"
36	オタフク綿	"	73	嶋村敏夫	"	110	渡辺洋一	"
37	松崎勤(太子堂面)	"	74	江沢利一	"			

防災

■消防の施設状況

(H10.1.10)

施設名	台数	施設名	台数
消防ポンプ車	7台	防火水そう	85カ所
水そう付ポンプ車	1台	消火栓	110カ台
小型ポンプ車	2台	防災無線戸別受信機	2,069世帯
指揮広報車	1台	"固定系システム	27カ台

■災害時の避難場所

年次	所在地	電話番号
御宿小学校	久保2085	68-2009
御宿中学校	新町68	68-2101
岩和田小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田青年館	岩和田788	68-4392
サンドスキー場(避難集合地)	岩和田1354	
布施小学校	上布施909	68-2437
実谷区民館	実谷586	68-5970
八坂神社(避難集合地)	須賀525	
御宿高校	久保1551	68-2911
B&G海洋センター体育館	久保1135	68-4143

■消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	3	15	8	9	43	166	245

■火災発生件数

年次	火災件数				火災件数(m)			損害額(千円)
	総数	建物	山原	林野その他	建物	山	林野その他	
6	2	1	0	1	324	0	0	7,160
7	5	5	0	0	103	0	0	6,612
8	1	0	0	1	0	0	0	0
9	4	0	2	2	0	300	0	0

保 健

■胸部検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
7	2,652	1,526	57.4%
8	2,507	1,531	61.1%
9	2,594	1,525	58.8%
10	2,545	1,495	58.7%

■胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
7	1,671	640	38.3%
8	1,543	675	43.7%
9	1,629	622	38.2%
10	1,558	696	44.7%

■子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
7	1,660	384	23.1%
8	1,630	367	22.5%
9	1,690	360	21.3%
10	1,641	339	20.7%

■基本健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
7	1,343	634	47.2%
8	1,350	609	45.1%
9	1,358	623	45.9%
10	1,309	672	51.3%

■乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
7	1,727	382	22.1%
8	1,700	377	22.2%
9	1,771	389	22.0%
10	1,721	383	22.3%

■大腸がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
7	1,335	899	67.3%
8	1,266	901	71.2%
9	1,363	972	71.3%
10	1,400	979	69.9%

国保・年金・老保

■国民健康保険加入者及び給付金状況

種別 年度	世帯数	加入者数(人)				医療費(町支弁額)(千円)			
		一 般	退 職	国保老人	合 計	一 般	退 職	国保老人	合 計
6	1,871	2,733	462	985	4,180	298,215	75,682	440,256	814,153
7	1,914	2,707	461	1,067	4,235	306,860	83,624	491,526	882,010
8	1,939	2,615	449	1,156	4,220	300,041	102,792	578,167	981,000
9	1,994	2,572	432	1,235	4,239	300,260	108,415	639,398	1,048,073

■国民年金受給者の状況

種 別	平成8年度		平成9年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
老 齢 基 礎 年 金	892	523,021	1,004	601,074
老 齢 年 金	871	372,521	845	361,489
通 算 老 齢 年 金	193	42,049	195	43,179
障 害 基 礎 年 金	35	29,545	36	29,849
裁 定 替 障 害 福 祉 年 金	67	62,871	66	61,663
旧 国 民 年 金 障 害 保 険	30	27,689	32	29,457
遺 族 基 礎 年 金	16	11,353	19	13,602
寡 婦 年 金	8	4,091	1	521
合 計	2,112	1,073,140	2,198	1,140,834
福 祉 年 金	71	20,546	58	15,212

■老人保健加入者及び給付金状況

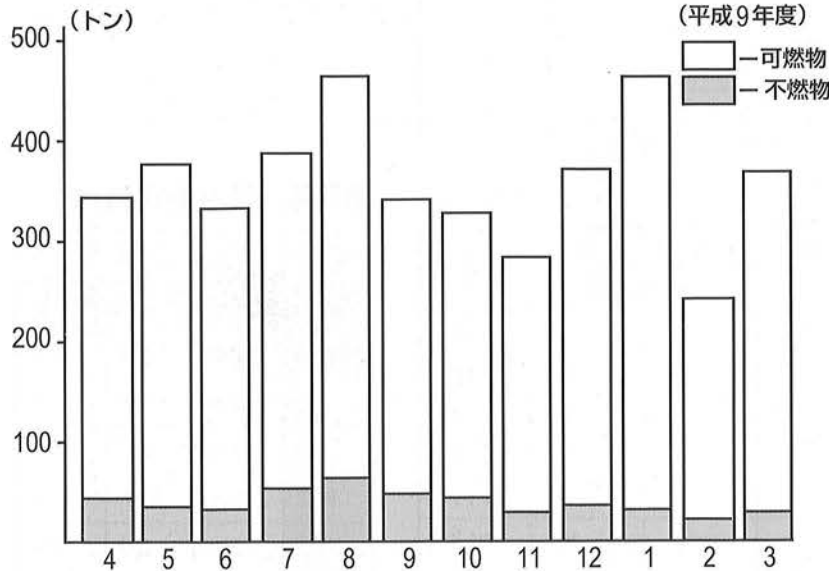
年 度	加入者数(人)	医療費(町支弁額)(千円)
6	1,388	646,427
7	1,473	732,372
8	1,575	793,643
9	1,668	893,902

■ゴミ収集状況

(トン)

年度	区分	可燃物	不燃物	合計	焼却日数
6		3,500	1,055	4,555	160
7		3,504	1,835	5,339	163
8		3,748	786	4,534	171
9		3,812	618	4,430	179

■月別ゴミ収集量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃物	296	340	296	329	403	294	286	251	330	431	221	335
不燃物	44	38	37	53	64	49	42	30	38	34	24	30



■し尿

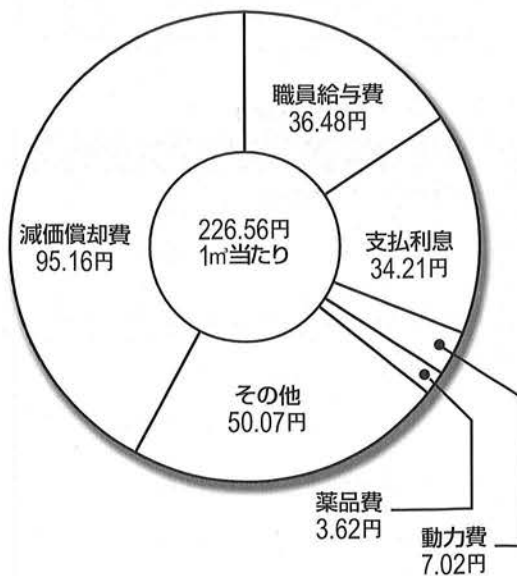
1. 処理計画人口 (人)	8,369
①非水洗化人口 (人)	3,015
(イ)計画収集人口 (人)	2,944
(ロ)自家処理人口 (人)	71
②水洗化人口 (人) (浄化槽人口)	5,354
2. し尿収集の状況 (kl)	4,201
①し尿 (kl)	1,844
②浄化槽汚泥 (kl)	2,357
収集職員数 (人)	4
バキューム車 (台)	2

上水道

■水道ダイジェスト

(平成9年度決算から)

区分	単位	9年度	8年度	増減
年度末給水人口	人	6,880	7,084	△ 204
年度末給水戸数	戸	3,023	2,937	86
年間取水量	m ³	1,123,002	1,036,645	86,357
年間給水量	m ³	925,734	895,540	30,194
年間使用水量	m ³	884,872	857,867	27,005
1ヵ月平均給水量	m ³	77,145	74,628	2,517
1ヵ月平均使用水量	m ³	73,739	71,489	2,250
1日最大給水量	m ³	5,427	5,570	△ 143
1日最大使用水量	m ³	5,188	5,336	△ 148
1戸1ヵ月平均使用水量	m ³	24.4	24.3	0.1
1人1日平均使用水量	ℓ	352	332	20
月平均給水収益	千円	13,700	13,245	455
給水原価	円・銭	226.56	224.71	1.85
資本費	円・銭	140.02	135.39	4.63
施設利用率	%	41.57	40.23	1.34



■1m³の水をつくる費用構成

教育

■町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事務 栄養職員	調理員	用務員
御宿中	234	7(1)	18	1	3	
御宿小	233	10(2)	16	2	4	
岩和田小	75	6(1)	13	1		
布施小	96	6(1)	11	1		1
計	638	29(5)	58	5	7	1

■中学校卒業生進路状況

卒業年	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就業者数	%	人数	%	
昭和 45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
平成 2	109	93	8	7	-	-	117
7	113	100	0	0	0	0	113
8	89	100	0	0	0	0	89
9	81	99	1	1	0	0	82

■児童・生徒数の推移

年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
昭和40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
平成 2	954	597	357
7	730	490	240
8	672	449	243
9	670	427	243

■社会教育施設利用状況

年度	公民館		資料館		海洋センター体育館		同プール	
	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数
平成5	90.9	22,642	11.6	2,903	105	30,995	112	7,093
6	91.2	26,907	7.7	2,826	103	30,212	102	3,991
7	100.2	29,667	10.0	2,947	97.5	28,667	99.4	5,763
8	71.5	21,175	12.3	3,565	101.4	29,838	90.2	5,326
9	89.8	26,656	12.3	3,663	122.8	36,583	87.1	4,968

■文化

名称	所在地	施設・内容
公民館	久保2200	調理実習室、和室、茶室、大ホール、大・中会議室、クラブ集会室、絵画工作室、視聴覚室、図書室(蔵書約8,600冊)
歴史民俗資料館	久保2200	(御宿と人)(御宿とくらし)(御宿と教え)のコーナー 展示300展、五倫文庫、70カ国の教科書32,500冊
月の沙漠記念館	六軒町 505-1	1F 企画展示室 2F 加藤まさを展示室 映像展示室 野外ステージ

■スポーツ

名称	所在地	施設・内容
町営野球場	久保1135	野球場、テニスコート3面
ゲートボール場	"	ゲートボール場3面
須賀多目的広場	須賀514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
海洋センター	久保1135-1	体育館、会議室
海洋センタープール	"	25mプール1、幼児用1
御宿台公園テニスコート	御宿台53番地	テニスコート6面
町営ウォータースライダー	須賀2208	プール、スライダー
御宿パークゴルフガーデン	御宿台805-804	パークゴルフ



姉妹都市青年交流事業「サマーキャンプ」での一コマ

姉妹都市

【姉妹都市】

アカプルコ市（メキシコ）

昭和53年8月姉妹都市協定締結

【姉妹都市】

野沢温泉村（長野県）

平成9年2月姉妹都市協定締結

【姉妹館】

御宿町歴史民俗資料館

ボウボウアタマ博物館（ドイツ・フランクフルト市）

平成3年11月姉妹館提携締結

指定文化財

区分	番号	名 称	所在地・指定地・伝承地	所有者又は伝承地	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田626	御 宿 町	昭和41.12.2
"	2	紙本著色大田喜藩陣列之図	" 久保2,200	御 宿 町	" 61.1.14
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	" 久保1,916	岩 瀬 禎 之	" 49.3.27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	" 浜572-1	妙 音 寺	" 49.3.27
"	3	亀 甲 地 双 鶴 鏡	" "	"	" "
"	4	白 銅 鏡	" "	"	" "
"	5	木造大日如来坐像	" 上布施1,474	真 常 寺	" "
"	6	木造如意輪観音坐像	" "	"	" "
"	7	十 王 堂 縁 起	" 六軒町	十 王 堂	" "
"	8	最明寺夫婦銀杏	" 須賀668	最 明 寺	" 53.3.27
"	9	旧 役 場 大 蘇 鉄	" " 160	御 宿 町	" "
"	10	双 盤	" " 668	最 明 寺	" 54.6.27
"	11	小 幡 神 楽 囃 子	" 上布施小幡	保 存 会	" 57.6.29
"	12	高 山 田 神 楽 囃 子	" 高山田区	保 存 会	" 57.9.28
"	13	千 人 塚 供 養 塔	" 新町字千人塚	妙 昌 寺	" 59.1.11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十 王 堂	" "
"	15	伊 勢 参 宮 絵 馬	" 上布施	八 幡 神 社	" "
"	16	真 常 寺 石 塔	" 上布施1,474	真 常 寺	" "
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	" 六軒町	十 王 堂	" 60.2.12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜618-1	観 音 寺	" "
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀668	最 明 寺	" "
"	20	旧 布 施 村 絵 図	" 実谷	実 谷 区	" 62.2.19
"	21	千箇寺参御首題帳	" 上布施1,800	吉 野 信	" "
"	22	孝女竹永志保の碑	" 上布施827	上布施区新宿	" 62.10.27
"	23	月夜見神社の宝塔	" 浜	三 夜 様	平成4.1.30
"	24	貝 海 女 具 一 式	" 久保2,200	御 宿 町	" 5.2.25
"	25	ハワイ出稼ぎ渡航関係	" 上布施3,280	吉田好武蔵	" 5.2.25
"	26	八坂神社旧御輿廻り飾り	" 実谷	実 谷 区	" 7.5.25
"	27	久保区行屋跡の宝塔	" 久保2,200	久 保 区	" 7.5.25
"	28	薬師堂の摩崖佛	" 岩和田	塩 田 寿 江	" 8.2.26
"	29	堂 坂 薬 師	" 浜堂ノ上	最 明 寺	" 9.1.27
"	30	堂坂薬師手洗い鉢	" 浜堂ノ上	最 明 寺	" 9.1.27
"	31	獅子頭、象鼻（波の伊八）	" 須賀668	最 明 寺	" 9.1.27

御宿町暮らしのダイジェスト

人口密度



1km²に336人

家 族



1世帯に2.76人

転 入



1日に1人

転 出



1.1日1人

結 婚



10日に1組

離 婚



26日に1組

出 生



7.5日に1人

死 亡



4日に1人

火 災



4件

交通事故



10.4日に1件

水道使用量



1人1日平均352ℓ

ゴ ミ



1日平均12.1トン

町 職 員



町民70人に1人

教 員



小学生10人に1人
中学生13人に1人
(9年5月1日現在)

商 店



23世帯に1店

町 税



1人当たりの負担
149,252円

自 動 車



1世帯に1.95台

子どもの数



4.75世帯に1人

救急車出動



1.3日に1件

町の台所



一般会計からの支出額
町民1人当たり401,570円



御宿の歌

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 二すずらん姉妹

一、あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり
忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二、星の数ほど 寄せては返す
色もとりどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町

三、月のあかりの 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻るか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一、星みれば はるかに杳く
雲みれば つぎせぬ想い
去りゆきし 君に話わねど
御宿の ああ 海の恋しさ

二、風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三、朝には あしたの祈り
夕には ゆうべの願い
嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはただ ああ 幸をここのみ

房州御宿音頭

作詩 石川澤月
作曲 藤井凡大

房州 御宿宝の庫よ
 Hanson リヤ ドウシタ ドウシタ
海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
 Hanson リヤ ヤッサイ
 ヤッサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は
 銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
 潮を黒潮 流れて巻いて
 風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもって
ぬれて苦労が してみたい
ぬれて苦労が してみたい

お前や水底 わしや風の中
 つなは一筋 つなは一筋 血が通う
 板子一枚いといはせぬが
 ぬれるお前が ぬれるお前が いとおしい

房州御宿旅立つ朝は
 雨も降らぬに 袖しぼる
 舟は帆まかせ 帆は風まかせ
 わたしやお前の わたしや
 お前のつなまかせ

御宿囃し

作詩 作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

一、ドンとドンとドンと男波が踊る
踊る男波に抱かれて歌う
女波いとしや月夜の晩は
御宿囃して浮かれ出す

二、山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が
月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三、磯の華かよ岩和田の海女は
浮いて沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四、昼は砂丘に浜昼顔が
夜は砂丘に宵待草が
粋な浜風花から花に
若い二人の燃える頬に

五、椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯パン無しの
可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

御宿のうた

： 晴れた日は
作詩 作曲 真木順子

一、晴れた日は 海へ行こう
白い砂浜がつづく
ほくたちに ほほえむよ
風もキラキラキラ
きれいな町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

二、雨の日は 耳をすまそう
波の音が聞こえるよ
母さんの子守唄 トロトロ
ねむりたい
やさしい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

三、言葉には ならないけど
胸の奥がしずむ時
メキシコの丘に立てば
心がなごむ
あたたかい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

四、月の夜は 海をみつめ
君は何を想うの
背に乗って歩きたいね
ラクダにゆらゆらと
夢のある町だね 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

月の沙漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すくる

一、月の沙漠を はるばると
旅のらくたが 行きました
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きました

二、金のくらはには 銀のかめ
銀のくらはには 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもてむすんで ありました

三、先のくらはには 王子さま
あとのくらはには お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました

四、広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどごへ 行くのでしよう
おぼろにけふる 月の夜を
ついのらくたは とほとほと
砂丘を越えて 行きました
だまって越えて 行きました



役場関係		〒299-5192 市外局番0470	
御宿町役場	須賀1522	☎(68)2511	
公民館	久保2200	☎(68)2947	
歴史民俗資料館	〃	☎(68)4311	
月の沙漠記念館	六軒町505-1	☎(68)6389	
御宿町児童館	新町419	☎(68)4542	
岩和田児童館	岩和田788	☎(68)4392	
社会福祉協議会	久保1135-1	☎(68)6725	
地域福祉センター	〃	☎(68)6725	
海洋センター	〃	☎(68)4143	
清掃センター	久保1041	☎(68)4613	
浄水場	実谷519	☎(68)4855	
町営運動場(管理棟)	久保1135	☎(68)4794	
御宿台公園テニスコート	御宿台52	☎(68)6959	
御宿パークゴルフガーデン	御宿台805-804	☎(68)4148	
町営ウォーターパーク	須賀2208	☎(68)3923	
学校施設			
教育委員会	須賀1522	☎(68)2511	
御宿保育所	久保2180	☎(68)2459	
岩和田保育園	岩和田926	☎(68)2944	
御宿小学校	久保2085	☎(68)2009	
岩和田小学校	岩和田1703	☎(68)2254	
布施小学校	上布施909	☎(68)2437	

御宿中学校	新町68	☎(68)2101
県立御宿高等学校	久保1511	☎(68)2911
警察		
駅前駐在所	須賀188	☎(68)2100
六軒町駐在所	六軒町488	☎(68)2719
布施駐在所	上布施860-3	☎(68)4499
その他		
御宿駅	須賀191	☎(68)2053
御宿郵便局	須賀449	☎(68)2871
布施郵便局	上布施1400	☎(68)2870
御宿町漁業協同組合	浜2164	☎(68)2611
岩和田漁業協同組合	岩和田945	☎(68)2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀167	☎(68)2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田1171-3	☎(68)3923
御宿町観光協会	須賀1522	☎(68)2414
御宿町体育協会	久保2200	☎(68)2947
御宿町商工会	新町417-22	☎(68)2818
御宿町商店振興会	〃	☎(68)2818
御宿町民宿組合	須賀191	☎(68)2325
御宿町旅館組合	〃	☎(68)4419